

環境会計

環境保全に関係した投資・費用を定量的に把握し評価するために、環境省の「環境会計ガイドライン 2012 年版」を参考に 2017 年度の環境会計データを集計しました。

2017 年度は、クーリングタワー更新、A-5 ベンチ排気サイレンサー工事などのコストが大きな割合を占めました。

(単位：百万円)

分 類		取り組み内容	投資額	費用額
事業エリア内 コスト	公害防止コスト	A-5ベンチ排気サイレンサー工事、A重油配管更新、集塵機の点検・修理、側溝改修、土壌浄化装置点検（油水分離槽維持管理）、防錆ブース年次点検 塗装ブース点検整備、排気ダクト交換修理など	11.2	14.3
	地球環境保全コスト	クーリングタワー更新、電気炉のメンテ・修理、手洗いボイラー更新、1ジスイヨウポンプ 2ジスイヨウポンプ、クロスフロータイプ冷却塔、電力見える化工事（6期）など	19.2	3.7
	資源循環コスト	廃棄物定期処理など	—	44.4
上・下流 コスト	グリーン購入に伴い発生した通常の購入との差額コスト	—	0.2	—
管理活動 コスト	環境情報取得、環境負荷監視及び事業所内美化	EMS認証取得、サーベランス、騒音、水質等環境測定など	—	27.7
研究開発 コスト	環境保全製品の研究開発及び製造段階における環境負荷抑制	船用ディーゼルエンジン排ガス規制対応研究など	16.4	2,066
合 計			47	2,156.1

環境保全対策による経済効果		売却量 (t)	売却額 (百万円)
有価物等の売却額①	鉄くず・切粉	1,253	21.1
有価物等の売却額②	木材、ダンボール、油性廃油	188.3	0.7